

令和3年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 まち資源 室 文化振興 課

1. 基本情報

1006

施設名	伊丹市立演劇ホール（アイホール）		
施設の設置目的	市民の自由な創造活動を促進し、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：市民力・にぎわい・活力 施策：歴史・文化 実施施策：芸術・文化活動の促進		
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	45,000	今年度の実績値 28,676

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H29	H30	R元	R2	R3 (上期)	R3 (通期)
	来館者数 (人)		34,461	50,863	40,902	39,549	21,716	11,992
貸し室稼働率 (%)		56	54	50	53	46	46	46
延べ事業開催回数(回)		35	55	44	41	36	18	33
延べ事業参加者数(人)		7,472	15,469	12,404	12,152	6,720	3,448	7,991

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

区分		令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	3カ年平均	
収入	使用料収入	7,789	4,638	9,814	7,414	
	事業収入	10,389	7,024	5,724	7,712	
	その他	14,641	11,080	6,724	10,815	
	指定管理委託料	89,465	90,671	83,569	87,902	
	①合計	122,284	113,413	105,831	113,843	
支出	維持管理	光熱水費	12,229	10,933	12,248	11,803
		清掃等委託料	22,080	22,235	21,622	21,979
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	2,327	2,884	1,533	2,248
	運営	人件費	44,785	44,867	44,610	44,754
		事業等経費	31,201	21,625	16,832	23,219
		その他	6,661	6,614	6,448	6,574
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	119,283	109,158	103,293	110,578		
純収支 (①-②)		3,001	4,255	2,538	3,265	

		H28	H29	H30	R元	R2	R3
施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>	市の収入	1,978	1,863	1,860	1,806	1,730	1,860
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	118,192	107,704	101,150	112,649	127,174	85,495
	(内、指定管理委託料)	94,108	90,826	92,227	89,465	90,671	83,569
	実質経費 (歳出-歳入)	116,214	105,841	99,290	110,843	125,444	83,635

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	委託業者からの点検報告を確認し、修繕計画を市に提案し、協議し適切に対応している。 貸館時には、コロナ感染症対策のため常に換気を稼働しながら、熱源のオンオフや排煙機能より室温を適切に調節した。	B	委託事業者の報告をもとに、市と協議を行いながら適切に修繕業務を実施した。 感染症対策を行いながらも、適切な室温管理など館内環境の維持に適切に取り組んでいる。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	オンライン研修などに参加し、舞台芸術における今後のコロナ感染予防ガイドラインなどの情報を得ている。	B	オンライン研修を利用するなど、職員の安全に配慮しながら、必要な研修を実施している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	アリオ管理組合と協力し、緊急時に備えた防火・防災体制を築いている。	B	関連機関と連携を図りながら、適切に防犯・防災対策に努めている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	ホール貸館見学の際には、舞台管理スタッフと共に施設の利用方法や予算面等の相談に応じるなど、丁寧な対応を行っている。	A	専門スタッフと共に利用者の立場に寄り添った対応を行っており、サービス向上に努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	幼児対象の参加型公演や児童向けのワークショップ、「アイフェス」やアウトリーチなど次世代育成事業の充実を図った。	B	感染症対策を講じながら、次世代育成事業を中心に積極的に事業を実施している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	月1回のメールマガジンの受信登録を推奨するほか、TwitterやInstagramの発信によりタイムリーな情報提供を行っている。	B	SNS等様々なツールを利用し、随時情報発信に取り組んでいる。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	常に予算執行状況を把握し、適正に運営している。	B	適正な事業運営に取り組んでいる。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	感染症対策を講じながらも、次世代育成事業などを中心に積極的な事業展開を行っており、利用者数については、コロナ禍以前の水準には満たないものの復調傾向にある。市と協議を行いながら、次年度以降を見据え適切な施設運営を行った。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和3年 4月 1日～令和 4年 3月 31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	(開演前) 最前列の観客が30分以上喋りっぱなしで不安になった。感染リスクを避けるために注意してほしい。(主催事業：ニットキャップシアター)	場内整理員が大声でアナウンスするのも不安を与えるかもしれないので、「会話をお控え下さい」の札を整理員が持ち、観客にアピールするようにした。
回答者数	演者の前に大きなアクリル板が設置され、コロナ対策をしっかりとされている印象でした。外が見えるロビーでの開催、雰囲気が良い。(焼酎亭AI・HALL寄席)	焼酎亭AI・HALL寄席はホールのロビーで行ったが、開放感があると好評であった。寄席以外でのロビー活用も検討していきたい。
2,128		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置